

## ■LEDユニットについて

- 光束維持時間は40,000時間です。光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDや電源のバラツキにより、同一型番でも発光色や明るさが異なる場合があります。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

## ■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

## お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。  
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼になれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

### 製品・お取り扱いなどのご相談は

#### お客様相談室

ナビダイヤル 電話  0570-055123  
(全国共通番号)

受付時間：9:00～17:00  
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

#### 愛情点検



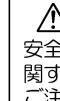
ご使用の際  
このような  
症状は  
ありませんか

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがある。
- コードに傷や痛みが見られる。
- グローブ、セードなどにひびが見られる。



ご使用  
中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。



安全に  
関する  
ご注意

- 照明器具及び関連機器には耐用年限があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。（周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合）
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

## コイズミ 照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

#### <保証について>

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。  
但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。
3. ランプ(LED電球を除く)、電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷
  - (4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  - (5) 施工上の不備に起因する故障や不良
  - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
  - (7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)本体：1年間 LED電源/モジュール/LED電球：3年間

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

お買上年月日

お名前

ご住所

電話 ( )

# KOIZUMI コイズミ照明器具 施工取扱説明書

型番 AB53962・AB53963・AB53964・AB53965・AB53966・AB53967

**お客様へ** 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。  
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

**工事店様へ** 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。  
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

**保存用**

## 【安全上のご注意】

! 警告		
		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	<b>厳守</b>	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	<b>禁止</b>	このような場所には取付けないでください。 この器具は壁取付専用器具です。天井・傾斜天井などには取付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。
	<b>禁止</b>	傾斜天井 天井 不安定な 場所 補強のない 場所
	<b>分解禁止</b>	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。
	<b>厳守</b>	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。 →照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。
	<b>禁止</b>	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

! 注意		
		この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
	<b>接触禁止</b>	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。
	<b>水ぬれ禁止</b>	この器具は防水ではありません。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。
	<b>禁止</b>	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
	<b>厳守</b>	ライコンなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
	<b>禁止</b>	使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。

## ■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AB53962・AB53963・AB53964 AB53965・AB53966・AB53967	AC100V	0.22A	11.6W	LED

## ■施工前の確認

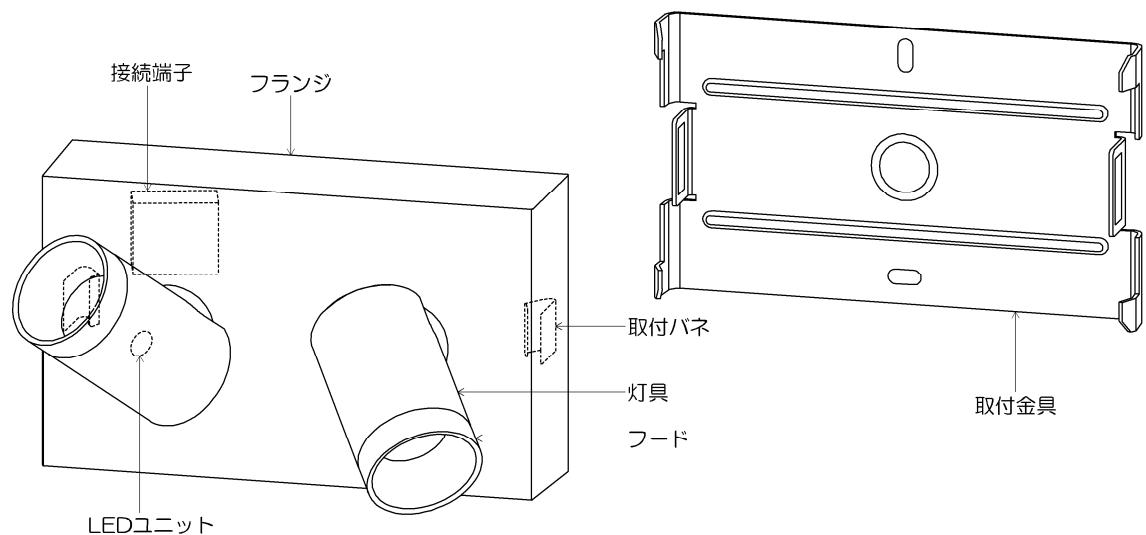
### 1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

### 2 取付面がクロス貼りの場合

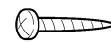
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。  
変色やサビの原因になります。

## ■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。  
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



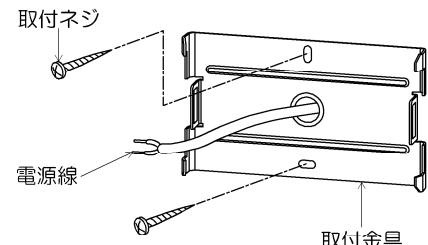
### 〈付属品〉



取付ネジ·····2本

### 1 取付金具を取付ける

取付金具に電源線を通し、取付ネジで取付ける。



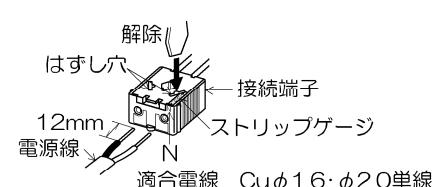
### 2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。

はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

但し、無理な力を加えないでください。接続端子が破損します。

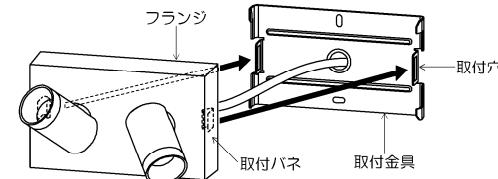
△ 警告 電源の接続を確実に行なってください。  
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



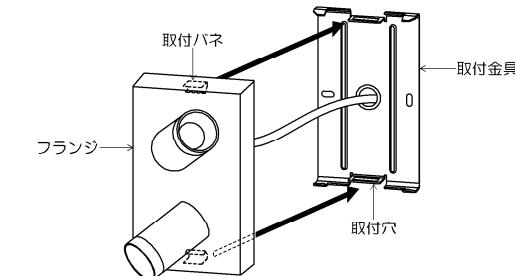
## 3 フランジを取付ける

取付バネと取付穴の位置を合わせ、フランジをまっすぐ押し込み、確実に取付ける。  
※取付け後、フランジを軽く引っ張って取付けの確認を行なってください。

※フランジを取り外す場合は、フランジをまっすぐ引っ張って取り外してください。  
※取外す際、バネによる抵抗があります。



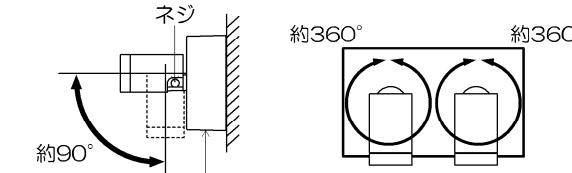
<縦付けの場合>



## 4 点灯の確認を行なう

### ■照射方向の調節について

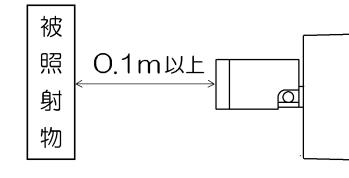
- 照射方向を調節する場合はフランジを持って行なってください。  
指定範囲以上、無理に動かさないでください。
- 照射方向を調節する場合は、灯具どうしがぶつからないように慎重に動かしてください。
- 可動部がゆるんだ場合、ネジを締め付けてください。



△ 注意 点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。  
やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

### ■照射距離について

- 照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。  
被照射面との距離は0.1m以上離してください。



### ■オプションフード (別売 : AE53972E) について

- オプションフードを取付けることができます。

